

アジア国際社会福祉研究所 kara

No.32 2021.2.25

編集・発行責任者 秋元 樹

第5回国際学術フォーラム「脱植民地化・土着化・スピリチュアリティ・仏教ソーシャルワーク:ソーシャルワーク研究者は西洋生まれのソーシャルワークのグローバリゼーションに抗う」開催！

24時間4大陸をつなぐ研究所初の試みは最大規模の開催となりました

2021年2月18日~19日に開催された国際学術フォーラムは、39カ国、350人以上の事前登録があり、リアルタイム接続の参加者は延べ426人という最大規模のオンライン開催となりました。



日本ソーシャルワーク教育学校連盟(ソ教連)のご協力により、東京都港区の同連盟研修室をメインに、本学研究所セッション「仏教ソーシャルワーク」は東京から、そして、南アフリカから「脱植民地化」、カナダ、アメリカから「ストレスが人間に与える影響とソーシャルワーク、インディジナス・ソーシャルワーク、スピリチュアリティとソーシャルワーク」、ニュージーランドから「土着化(インディジナイゼーション)」、マレーシア、フィリピンとインドネシアから「スピリチュアリティ」の各セッションはそれぞれの地域から発信、24時間かけて世界中をリアルタイムでつなげました。このユニークな試みは各コーディネイターの努力と貢献により、上記の国々以外にも、ドイツ、イギリス、インド、スリランカ、バングラデシュ、フィジー、オーストラリア等世界中の国々の視聴者を集めることができました。登壇者、発言者たちはそれぞれのキーワードに沿って各国のソーシャルワーク、ソーシャルワーク教育の抱える課題を提起し、世界中で進んでいる「ソーシャルワークそのもののグローバリゼーション」に対し警鐘を鳴らしました。Facebookにも世界中から本フォーラム開催への賛辞と、各種問い合わせの声が届いています。節目となる5回目の国際フォーラムは文字通り「コロナ禍」を逆手にとって大成功に終わりました。関係者の皆さまのご協力に心より御礼申し上げます。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。